

小学校体育科（運動領域）の指導に対する理解を深める

保健体育講座・糸岡 夕里

1. 「初等体育科教育法」の概要

「初等体育科教育法」の授業は、小学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、例年170名程度の受講生がおり、本年度は165名が受講した。

前半10回が運動領域、後半5回が保健領域を対象としており、授業スケジュールは以下の通りであった。ここでは、前半10回の運動領域(糸岡担当)の内容について報告する。

日時	回	内容	日時	回	内容
4/12	①	楽しい体育授業を実現！ -みんなが愛顧の体育授業	6/14	⑨	体育では何を評価するの？ -評価の考え方・テスト
4/29	②	体育とはどんな教科？ -学習指導要領の変遷	6/21	⑩	運動領域のまとめ
4/26	③	体育では何を教えるの？ -体育科の目標・内容	6/28	⑪	保健科教育とは？
5/10	④	今の子どもたちの体力は？ -発達特性と運動・運動遊び	7/5	⑫	保健領域の内容理解および指導法 (第3・第4学年)
5/17	⑤	よい体育授業とは？ -よい体育授業の基礎的条件	7/12	⑬	保健領域の内容理解および指導法 (第5・第6学年)
5/24	⑥	できない子には愛の手を！ -よい体育授業の内容的条件	7/19	⑭	保健の様々な学習方法
5/31	⑦	体育の準備は結構大変！ -学習指導計画の作成	7/26	⑮	保健領域のまとめ
6/7	⑧	運動領域の学習支援 -ICTの活用、インクルーシブ			

【授業の目的】

本授業の目的は、子どもを取り巻く様々な問題を踏まえ、小学校の体育科では、どのような授業を構想し、実践していけばいいかを考え、学習指導要領における体育科の目標・内容や、教材研究、学習指導の具体的な方法について、体育（第①～⑩回）と保健（第⑪～⑮回）に分けて要点を理解することである。

【授業の到達目標】

- (1) 学習指導要領における体育科の目標、内容及び内容の取り扱いの要点を説明できる
- (2) 体育領域での教材研究、学習指導計画、学習指導の効果的な方法を具体的に述べるができる
- (3) 保健領域での教材研究、学習指導計画、学習指導の効果的な方法を具体的に述べるができる

2. 授業評価

以下は、学生の DP に対する調査結果である（回答者 54 名，回答率 32.7%）。4 つの観点に対し、いずれも 9 割を超える肯定的な評価が得られた。

「この授業で出された課題や予習・復習のために、授業時間外に費やした学習時間は平均で一週間に何時間程度ですか」という質問では、平均すると 1 時間 18 分であったことから、この授業での授業時間外学習が適切に設定されていたことが確認できた。

「この授業で出された課題や予習・復習をおこなうこと以外の理由で、この授業に関連して時間外に費やした学習時間は平均で一週間に何時間程度ですか」という質問では、24 名(44.4%)が費やした時間を記載しており、平均すると 1 時間であった。「この授業を受けて、自分で自発的に読んだ本や論文の数はいくつですか」という質問では、18 名(33.3%)が数を記載しており、平均すると 0.7 冊であった。これより、主体的な学習に取り組んでいたことが推察された。授業中に関連する文献等を毎時間、紹介していたことから、それらが活用されていたのか今後明らかにしていきたい。

「この授業をきっかけにして取り組んだ、教育実践や授業時間外での制作等の自発的活動は何件ありますか」という質問に 6 名(11.1%)が件数を回答していた。この人数がより増えていくような授業を実践していくことが今後の課題である。

